

京都大学経済研究所シンポジウム

これからの気候変動対策を考える ～深刻化する環境危機の中で～

2025年

11月

8日(土)

14:00～17:00 (13:30開場)

京都大学百年時計台記念館

国際交流ホールⅢ

入場無料
定員80名



参加希望の方は、QRコード又は
ホームページよりお申込みください。
<https://cscenter.co.jp/kier2025-2/>

いまの国際情勢等を踏まえ、気候変動にどう向き合い、対応していくか。国内外の動向や脱炭素化に向けた現在の取組、今後の方向性や見通しについて議論し、今後の気候変動対策・脱炭素化に向けた取組のあり方を考えます。



高村 ゆかり 氏
東京大学未来ビジョン研究センター 教授



大井 通博 氏
環境省 大臣官房審議官



八林 公平 氏
株式会社エスプールブルードットグリーン
取締役社長

京都大学経済研究所シンポジウム

これからの気候変動対策を考える～深刻化する環境危機の中で～

登壇者



高村 ゆかり 東京大学未来ビジョン研究センター教授
専門は国際法学・環境法学。京都大学法学部卒業。一橋大学大学院法学研究科博士課程単位修得退学。龍谷大学教授、名古屋大学大学院教授などを経て2019年4月から現職。フランス国立科学研究センター（CNRS）Fellow-Ambassadeur、東京都環境審議会会長、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）委員なども務める。中央環境審議会会長（2021～2025年）なども務めた。



大井 通博 環境省 大臣官房審議官
1995年京都大学大学院理学研究科修士課程修了後、環境庁（当時）入庁。地球温暖化対策、化学物質管理、水環境保全などに携わる。2008年経済協力開発機構（OECD）派遣。2011年から国際地球温暖化対策室にて「パリ協定」交渉を担当。環境影響審査室長、国際連携課長、水環境課長、地球環境局総務課長等を経て、本年7月から現職。



八林 公平 株式会社エスプールブルドットグリーン 取締役社長
2006年国際基督教大学卒業後、環境省入省。カーボンクレジットの制度設計、国立公園の自然保護官を担当。2010年北海道下川町役場奉職、木質バイオマスを活用した集落再生の取組を推進。2018年一般社団法人集落自立化支援センター設立・代表理事（現職）、地域の再エネ事業を支援。2020年6月から現職、上場企業のサステナビリティ経営を支援。

プログラム

- 14:00 開会挨拶** 関口 格 京都大学経済研究所教授・所長
挨拶 岩井 一宏 京都大学プロボスト・理事・副学長
挨拶 竹内 憲司 京都大学大学院地球環境学堂教授
- 14:15 講演 「パリ協定から10年ー気候変動政策はどう変わったのか」**
高村 ゆかり 東京大学未来ビジョン研究センター教授
- 14:45 講演 「脱炭素に向けた日本の取組」**
大井 通博 環境省大臣官房審議官
- 15:15 講演 「日本企業が目指すべきサステナビリティ経営による企業価値向上」**
八林 公平 株式会社エスプールブルドットグリーン取締役社長
- 15:45 休憩**
- 15:55 パネルディスカッション**
【パネリスト】高村 ゆかり 氏・大井 通博 氏・八林 公平 氏
【コーディネーター】五十嵐 祐介 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター特定准教授
- 16:55 閉会挨拶** 溝端 佐登史 京都大学経済研究所特任教授 先端政策分析研究センター長

入場無料
定員80名



参加希望の方は、QRコード又は
ホームページよりお申込みください。
<https://cscenter.co.jp/kier2025-2/>